

川崎市立看護大学大学院整備基本計画（案） に関する意見募集の実施結果について

1 概要

本市では、地域包括ケアシステムの推進役等となる人材の養成のため、令和7年4月に川崎市立看護大学における大学院の開学を目指しています。

この度、新たな大学院の開学に向けた「川崎市立看護大学大学院整備基本計画（案）」を取りまとめ、幅広く市民の皆様の御意見を募集しました。

その結果、4通14件の御意見をいただきましたので、御意見の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題名	川崎市立看護大学大学院整備基本計画（案）に関する意見募集について
募集期間	令和5年6月15日（木）～7月14日（金）
提出方法	電子メール、FAX、郵送又は持参
周知方法	・本市ホームページ ・市政だより（7月1日号） ・かわさき情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階） ・各区役所市政資料コーナー ・市立看護大学
公表方法	・本市ホームページ ・かわさき情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階） ・各区役所市政資料コーナー ・市立看護大学

3 結果の概要

意見提出件数（件数）	4通（14件）	
内 訳	電子メール	4通（14件）
	FAX	0通（0件）
	持参	0通（0件）
	郵送	0通（0件）

4 御意見の内容と対応

意見募集の結果、特色ある大学院づくりに関すること、養成コース又は教育課程・教育体制に関することなどについて御意見が寄せられました。

寄せられた御意見は、案に沿ったものや参考とするもの、案の内容を説明・確認するものであったことから、当初案のとおり「川崎市立看護大学大学院整備基本計画」を策定します。

【対応区分】

- A：御意見の趣旨を踏まえ、当初案に反映したもの
- B：御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ、取組を推進するもの
- C：今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D：案や施策に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他

【意見の件数と対応区分】

項目 \ 区分	A	B	C	D	E	計
(1) 計画全般に関すること	0	1	0	3	0	4
(2) 特色ある大学院づくりに関すること	0	2	0	0	0	2
(3) 養成コース及び教育課程に関すること	0	1	1	3	0	5
(4) その他	0	0	0	2	1	3
合計	0	4	1	8	1	14

5 市民意見(要旨)と意見に対する市の考え方

別紙のとおり

6 問合せ先

市立看護大学事務局 企画調整担当

電話：044-587-3544

FAX：044-587-3506

E-mail：40kangoj@city.kawasaki.jp

川崎市立看護大学大学院整備基本計画（案） に関する意見概要と意見に対する市の考え方

〔対応区分〕

- A 御意見を踏まえ、計画に反映したもの
- B 御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの
- C 今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D 案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E その他

（１）計画全般に関すること ４件

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	市民の生活に必要な政策なのか不明。	<p>市立看護大学への大学院設置につきましては、川崎市総合計画第3期実施計画（令和4年3月策定）において取組を進めることとしておりました。そのため、令和5年2、3月に開催いたしました川崎市立看護大学評議会及び同検討部会において、大学院設置の必要性を改めて確認したところ、御理解を得られたことから、本計画をとりまとめたものです。</p> <p>本計画の第2章「1 設置の趣旨・目的」にありますように、地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくため、取組を推進してまいります。</p>	D
2	そもそも北部には病院の数も少ない。南部のための政策は不要である。	<p>サテライトキャンパスの整備場所は大学との連携や利便性を考慮し川崎駅周辺を想定していますが、本大学院で養成した人材が市の南部地域に限らず市域の医療機関、施設等で活躍していただくことにより、地域包括ケアシステムがより実効性のあるものとなり、地域社会における健康と福祉の向上並びに看護学の発展に寄与するよう取り組んでまいります。</p>	D
3	大学院を設置し、より高等な教育研究の機会を提供することは極めて重要で、素晴らしい取り組みである。	<p>本大学院では、地域で活躍する社会人が働きながら通うことも想定しており、修了後も、本大学院で培われた知識・態度・判</p>	B

		断力・実践力を発揮していただくことで、地域における健康と福祉の向上に寄与できるものと考えています。	
4	基本的に支出を絞る市政の考え方と、このように不用意に支出が増えるアクセシビリティや利便性の高いキャンパスを用意することは、本当に一致するのか。それとも十分に元が取れるという数字的根拠があるのか。	<p>大学院には社会人が通うことも想定しており、働きながら通える場所にサテライト施設を整備することで、大学院の設置の趣旨・目的をより果たすことができるものと考えています。</p> <p>こうしたことを総合的に勘案し、川崎駅周辺の民間ビル等にサテライト・キャンパスを設置することとして検討を進めておりますが、今後、経済性を発揮した効率的な大学運営が行えるよう詳細な検討を進め、地域における健康と福祉の向上に寄与できるよう検討してまいります。</p>	D

(2) 特色ある大学院づくりに関すること 2件

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
5	社会人にも学習の門戸を開くことは極めて重要で、サテライトキャンパスやオンライン授業実施、図書館の充実など恵まれた教育の場を整えることは良いことである。	本大学院では、地域で活躍する社会人が働きながら通うことも想定しており、いただいた意見については、本計画の第2章「3 特色ある大学院づくり」でお示した内容となりますので、本計画に基づき取組を推進してまいります。	B
6	社会人大学院生も検討しているように考えられるが、特に看護職は女性比率が高い状況が続いており、大学院へ進学する方も女性が多くなる可能性が高い。仕事・勉学・育児を同時並行で行う人が出てくることについてどこまで考えているのか。そのようなためのサテライトキャンパスなのか。	本計画の第2章「3 特色ある大学院づくり」でお示したとおり、最寄り駅から徒歩圏内で通える利便性の良いサテライト・キャンパスや、学外からの利用も可能な図書館の整備・充実、長期履修制度の活用、オンライン授業などの修学・教育体制を整備することで、仕事・勉学・育児を同時に行う方に配慮できるよう検討してまいります。	B

(3) 養成コース及び教育課程に関すること 5件

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
7	他大学では、特定疾患へ特化した研究コースが大学院へ設置されるケースも多く「がん看護専門領域」などがあるが、本大学院では行わないのか。	看護学はライフステージ別の学問体系になっており、疾患別の体系にはなっていないことから、大学院では、特定の疾患に特化した養成コースの設置はいたしません。が、(仮称)地域包括ケア専攻において、小児、成人、老年など発達段階に応じた教育課程の中で、その年代等でり患し易い疾患についての教育を行ってまいります。	D
8	全体的に少子高齢化を見通した老年介護を中心としたカリキュラムである印象を受けた。若年層は年々と減少しており、どの業界においても若年層を重要な働き手として望んでいる。このような観点からカリキュラムを見ると、市の今後を支える人材育成と考えることができる一方で、高齢者への奉仕に若年層を束縛するものと解釈もできる。	本市が目指す、全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとするため、大学院では小児、成人、老年、在宅看護学や助産学等、幅広い研究コースについて設置を検討します。様々な分野で、地域を牽引する看護職や、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材を養成することで、特定の年齢層に偏ることなく、地域社会における健康と福祉の向上等に寄与するものと考えています。	D
9	一部の科目を抽出した短期の「履修証明コース」を設け、今後受験を考えているもの、必要な知識と方法基礎の学修を希望する社会人のニーズを拾うことが望ましいのではないかと	本計画では、地域で活躍する社会人が更なる専門性習得のため働きながら通うことも想定しているところですので、いただいた意見につきましては、今後、詳細な教育内容やカリキュラム等を検討する中で、実現可能性も含めて併せて検討してまいります。	C
10	少子高齢化が念頭に置かれているように見受けられるが、こどもや大人の精神的なケアもまた重要な社会課題であることから、福祉と看護の連携を前提に、主旨及び実際の教育内容に反映し、コミットしていただきたい。	本市では高齢者のみではなく全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいます。本計画においても家族、小児、精神、在宅看護学や助産学等、幅広い研究コースについて設置を検討するとしており、広い世代の方へ	B

		<p>の精神的なケアへの対応を含め、様々な分野で地域を牽引する看護職や、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材を養成していけるよう検討を進めてまいります。</p>	
11	<p>本計画では、地域包括ケアが主に高齢者を対象としていることや、看護職だけで複雑な問題を抱える地域課題に対応するように見える。</p> <p>高齢者だけではなく、虐待（児・者含め）や権利擁護、障害者差別など幅広く対応していくため、「地域包括ケア専攻」に関しては、それぞれの分野の教授陣を配置されることと、実際の現場とのコラボレーションを基盤とした研究・教育ができる体制を構築していただきたい。</p>	<p>本市では、高齢者のみではなく全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいます。</p> <p>今後、保健、医療・介護・社会福祉サービスのニーズは増加、変化、複雑化していくことが見込まれており、看護職をはじめとする専門職や関係者が、多職種と連携していく必要があることから、本大学院では、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材等を養成することで、地域課題の解決に寄与できるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、現在も、大学では看護以外の分野から外部講師を招聘し講義を行ったり、保育園、小・中学校、児童養護施設、児童相談所など、医療機関や高齢者関係施設以外での実習を行うなど、本市の地域資源を活用した授業等を実施していることから、大学院におきましても、本計画の第2章「3 特色ある大学院づくり」にありますように、本市の地域特性を踏まえ、また人的・物的資源を活用した授業（講義、演習、実習）の実施について取り組んでまいります。</p>	D

(4) その他 3件

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
12	<p>設立の趣旨「地域包括ケアシステムに資する人材を養成し、地域社会における健康と福祉の向上に寄与」にかんがみれ</p>	<p>本大学は、市内看護師養成所の減少といった背景や将来の看護師不足、更には地域包括ケアシステムに資する看護職養成の</p>	D

	<p>ば、看護のみではなく、福祉分野の学部やコースを設けることが望ましいのではないだろうか。政令指定都市として福祉分野でも様々な権限・裁量を有する川崎市の特性にかんがみれば、「保健福祉大学」や「看護福祉大学」の名を冠したうえで、分野横断的な教育と専門特化型の教育を有機的かつ段階的に行っていくことが、市政に寄与する人材確保の観点でも適切ではないだろうか。独力での教育が難しければ、福祉系大学と提携して教育を行うことも可能である。</p>	<p>必要性から、市立看護短期大学を4年制大学に移行したものです。</p> <p>本市が目指す全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向けては、看護職をはじめとする専門職や関係者が、多職種と連携していく必要があることから、本大学院では、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材等を養成することで、地域課題の解決に寄与できるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、現在も、大学では看護以外の分野から外部講師を招聘し講義を行ったり、医療機関や高齢者関係施設以外での実習を行うなど、本市の地域資源を活用した授業等を実施していることから、大学院におきましても、本計画の第2章「3 特色ある大学院づくり」にありますように、本市の地域特性を踏まえ、また人的・物的資源を活用した授業（講義、演習、実習）の実施について取り組んでまいります。</p>	
13	<p>看護師の需要増加自体は当然理解しているが、市内での各産業の人員バランスの調整については、どのように行なうのか。</p>	<p>本大学は、市内看護師養成所の減少といった背景や将来の看護師不足、更には地域包括ケアシステムに資する看護職養成の必要性から、市立看護短期大学を4年制大学に移行したものです。本大学が果たす役割といたしまして、引き続き地域包括ケアシステムに資する看護師養成に向けた取組を進めてまいります。</p>	E
14	<p>本大学院はアレルギー疾患専門医療拠点に関して、どのように寄与していくのか。</p>	<p>「(仮称) 基盤看護学専攻」では、患者の症状のマネジメントや看護管理、家族支援の在り方についての学修・研究を行うとともに、「(仮称) 地域包括ケア専攻」では、小児から高齢までの地域・医療機関・施設等におけるシームレスな看護の実践や心</p>	D

		<p>身の健康管理・予防についての学修・研究を行うこととしております。</p> <p>そのため、修了生が地域の医療機関等に就職された場合などは、看護の質の向上や家族支援の強化、多職種・施設との連携の推進といった視点で、寄与できるものと考えております。</p>	
--	--	---	--